

報告事項ク

令和5年度とっどりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果  
について

令和5年度とっどりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果につい  
て、別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

## 報告事項

令和5年度とつりのミリオク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果について

令和5年9月6日

小中学校課

### 1 目的

鳥取県にあるいろいろな仕事を見学したり、体験したりすることで、子どもたち自身が働くことの意味ややりがいを知り、自分の将来について深く考えるきっかけとする。また、見学や体験で得た学びを自由研究やリーフレット等を活用して発信することで、鳥取県内の企業のすばらしい取組や、ふるさと鳥取のよさを実感できるようにする。

県内の仕事を知り、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができることから、子どもたちの未来を生きぬく力を育む「ふるさとキャリア教育」の一環として行う。

### 2 期日

東部コース：令和5年7月31日（月）午前9時から午後4時30分まで

西部コース：令和5年8月1日（火）午前9時から午後4時30分まで

中部コース：令和5年8月2日（水）午前9時から午後4時30分まで

### 3 参加対象者

小学校及び義務教育学校4年生～6年生の児童とその保護者

・東部地区コース：14組（児童15名、保護者14名、合計29名）

・西部地区コース：13組（児童14名、保護者13名、合計27名）

・中部地区コース：15組（児童17名、保護者17名、合計34名）

※3コースとも参加申込み多数により、厳正な抽選を行った上で参加者を決定

### 4 内容

コース・期日	訪問企業	体験・見学内容
<東部> 7月31日 (月)	株式会社 LIMNO	工場でタブレットの組み立て現場を見学した後、グループで協働しながらタブレットの分解体験等を行う。
	大江ノ郷自然牧場グループ 有限会社ひよこカンパニー	料理やスイーツが作られる様子の見学、卵を使ったスイーツや料理等を考える体験を行う。
<西部> 8月1日 (火)	三光株式会社	山陰最大級の焼却工場を見学し、地域から出てくる廃棄物のリサイクルや処理に関連する仕事の一部を体験する。
	株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク	テレビなどで配信されている緊急情報や地域情報配信の仕組み、情報発信のコツを体験しながら楽しく学ぶ。
<中部> 8月2日 (水)	株式会社チュウブ	芝畑で芝の育成の様子を見学し、芝の出荷体験をしたり、芝の歴史について学んだりする。
	大山乳業農業協同組合	工場で牛乳やヨーグルトができる様子を見学し、「利き牛乳」体験を行う。

### 5 成果・還元

ツアー終了後のアンケートでは、参加した児童や保護者から、工場見学や仕事体験、各企業で働く方の話を聞くことを通して、鳥取県内に魅力的な企業があることを知るとともに、鳥取のよさについても気づくことができたという感想が多くあった。

また、鳥取の企業で働く人たちの様子を見て、その思いを聞き、実際に仕事の一部を体験することで、働くことの意味ややりがいを知り、自分の将来について深く考えるきっかけとなったという思いを持った児童がいた。（別紙参照）

さらに、参加児童にツアーで得た学びを、自由研究や新聞、感想文等にまとめ成果物として提出してもらっている。今後は、アンケート結果や見学・体験時の写真とともにふるさとキャリア教育に係るイベントで発表・展示し発信することで、広く県民に県内企業のすばらしい取組やふるさと鳥取のよさを実感する機会とするとともに周知していく。



「令和5年度とつとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の  
見学・体験内容と参加者の感想（中部地区コース）

- 1 日 時 令和5年8月2日（水）
- 2 訪問企業 株式会社チュウブ、大山乳業農業協同組合
- 3 参加人数 児童17名、保護者17名、合計34名
- 4 見学・体験内容と参加者の様子

よりよいものを鳥取から全国まで届けたい、鳥取のよさを生かして鳥取だからこそできる商品づくりを行うという思いを聞くことができ、ふるさと鳥取のよさや鳥取のすばらしい企業の魅力に気付くことができた。

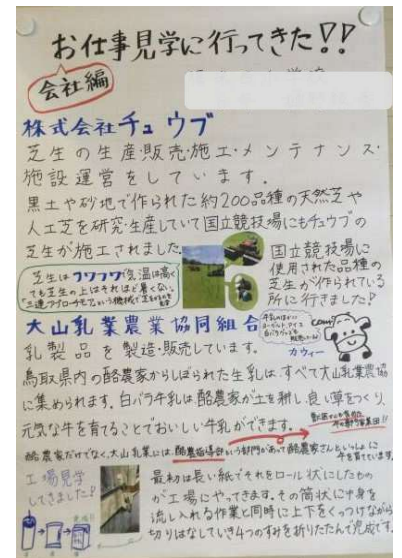
【株式会社チュウブ】

- ・本社で企業説明を聞いた後、国立競技場に出荷している芝と同じ芝を育成している圃場で走ったり寝転んだりして芝の感触を確かめ、大きな機械で芝を刈る様子を見学した。
- ・芝の育成の様子を見て、体験する中で感じた疑問を企業の担当者にたくさん質問していた。
- ・鳥取の砂地の多い地形は芝の育成に適していること、鳥取にいながら芝の育成を通して全国の様々な地域や人とつながることができることを聞き、鳥取のよさを再発見している様子が伺えた。



【大山乳業農業協同組合】

- ・工場でヨーグルトや牛乳が作られる様子を見学した後、白バラ牛乳のおいしさの秘密や、大山乳業で働く人やその仕事の内容について詳しい説明を聞いた。
- ・参加者は、普段給食で飲んでいる牛乳がどのように作られているかを興味深く見たり聞いたりしていた。
- ・「利き牛乳」体験で、製造方法の異なる3種類の牛乳の飲み比べを親子で相談しながら行った。



参加児童の学びの成果物

5 参加した児童の感想（一部抜粋）

- ・オリンピックの国立競技場での一晩での張り替え作業の話が印象的でした。
- ・チュウブの芝にかける情熱に感動しました。国立競技場の芝をいつか見たいです。
- ・こんなに近くに大舞台での活躍を裏で支えていた企業があったなんて知りませんでした。
- ・白バラ牛乳がおいしいのはなぜだろうと思っていましたが、土づくり、餌作りから始まって、生産者さん一人一人と向き合って、大事に育てられた牛からとれる乳を原料にしているからだということが分かりました。
- ・小さい頃から大山乳業の牛乳が大好きで地元に戻って楽しく働いておられる姿がとても輝いていました。

6 参加した保護者の感想（一部抜粋）

- ・「親子で」というのがとても貴重な体験だったように思います。
- ・本社が都会になくとも、地の利を活かした事業をやり方次第では世界レベルまで持っていけるということが分かり、地元就職についての意識に変化がありました。
- ・今回は、地元企業にはどんな会社があり、どのような仕事内容なのか、またそこで働く方が地元企業を選択した気持ち等を実際に見たり、聞いたりする貴重な機会だったと思いました。こういった内容の企画が更に増えると、これからの将来を考える子どもや親の参考になり、よいと思いました。鳥取のよさを親子共々改めて感じられました。
- ・鳥取に他県に誇れる仕事があることを嬉しく思いました。



「令和5年度とつりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の  
見学・体験内容と参加者の感想（西部地区コース）

- 1 日 時 令和5年8月1日（火）
- 2 訪問企業 三光株式会社、株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク（SCN）
- 3 参加人数 児童14名、保護者13名、合計27名
- 4 見学・体験内容と参加者の様子

企業の方たちから自分たちの仕事にやりがいと誇りをもって働いていることをエピソードも交えて聞くことができた。その上で業務の一部を体験することができ、働くよさや難しさも実感することができたようだった。

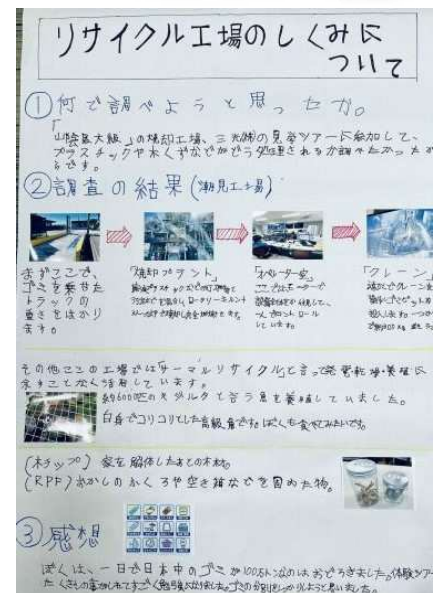
【三光株式会社】

- ・廃棄物処理工場の見学後、本社で企業説明を聞いた。
- ・リサイクルされたごみがどのように利用されるのかその実際を見たり、カードゲームを通して親子で楽しみながらごみの分別から処理までの流れを学んだりすることができた。
- ・廃棄物処理の際に出る熱を利用した魚の養殖に、参加者の多くが驚いていた。



【株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク】

- ・様々な部署の業務について詳しい説明を聞き、鳥取の魅力を発信するキャラクターづくり体験とコンピュータを使った緊急速報発信体験を行った。
- ・鳥取のよさについて改めて親子で考えたり、パソコン操作に戸惑いながらも、親子で協力しながら緊急速報を発信したりして楽しみながら仕事について学んでいた。



参加児童の学びの成果物

- 5 参加した児童の感想（一部抜粋）
  - ・三光は、廃棄物の処理をしていて、汚いものの処理は私なら苦手なのに自然のことや住民のことを考えて、一生懸命に仕事をしていてすごいと思いました。
  - ・暑い中、汗を流しながら一生懸命がんばっておられる姿を見て、私もがんばろうと思いました。
  - ・SCNは、全国に緊急速報を流していると知ってとても驚きました。間違った情報を流さないように、一つ一つの情報をチェックし、ミスをしていないか一生懸命にチェックしていたことがすごいと思いました。
  - ・SCNは瞬時に速報を流してあげて、助かった人もたくさんいるようで感動しました。
- 6 参加した保護者の感想（一部抜粋）
  - ・鳥取県からでも全国で活躍できる仕事があると実感しましたし、子ども達も将来への視野が広がったと思います。
  - ・楽しそうに仕事のことを話してくださったので、働くことに対する意識によい影響をもらえたと思います。
  - ・地元にながら、広い世界や未来を考えて働くことができると知って、子どもの将来に向けての生き方によい影響を与えてもらいました。
  - ・県内に、他県に誇れる業務内容の会社があることが分かりました。また、子どもと会社や社会について話す機会が持て、実際に働く方のお話はたいへん刺激になりました。
  - ・社員さんが生き生きと、また全国規模で仕事をされており、自分の仕事が世の中のためになっているとおっしゃっているところを拝見し、地元でも広い視野で物事を考え対応できる人間になれると感じましたので、今後の進路決定の際にも今回のような企業さんで働くことも一つの候補になりました。